

3) 有形文化財

①神社

市全体で42社、最も多いのは北多久町の14社となっている。

両子神社は、天徳元年(957)に秋田宮内大輔豊定が勅命により納所へと赴任する時に創建した熊野権現社と、長徳元年(995)豊定の子秋田納所次郎豊次とまたその子、豊忠が両子山山頂に創建した両子山王権現(のち参詣が困難なため現在地に移転)を起源とする、明治43年合併して現在の両子神社となった。このうち両子神社の肥前鳥居が市重要文化財になっている。

多久(若宮)八幡神社は、多久の祖多久太郎宗直が、鎌倉の鶴ヶ丘八幡宮の若宮八幡を勧請して、建てたと伝えられている。境内にある三本杉は八幡神社の建立時に植えられたと伝えられており、県内でも最大級のもので市天然記念物に指定されている。

多久神社は、弘化元年(1844)多久茂族が先祖の家兼、長信、安順を祭祀するための新宮を創建、梶峰社と名付け京都より御神体を遷座して遷宮式を行った。昭和26年多久神社と改めた。

西ノ原大明神は、7代領主多久茂堯の長女・林姫を祀る神社。その他の神社については関連資料一覧のとおり。



写真 2-48 多久神社(多久町)



写真 2-49 岸川熊野権現社(北多久町)



写真 2-50 高野神社(南多久町)



写真 2-51 藤川内天満宮(西多久町)



写真 2-52 西ノ原大明神(多久町)



写真 2-53 両子神社(東多久町)

②寺院

市全体では、31 寺院であり、東多久町が最も多く 9 寺院となっている。最も古い創建は平安時代に行基により開山されたと伝えられる桐野山妙覚寺（南多久町桐野）、次いで光明山専称寺（多久町東の原）となっている。宗派では曹洞宗が 10 と最も多い。



写真 2-54 正善寺（西多久町谷）



写真 2-55 専称寺（多久町東の原）



写真 2-56 妙海寺（東多久町仁位所）



写真 2-57 等覚寺（多久町西の原）



写真 2-58 聖光寺（多久町東の原）



写真 2-59 妙覚寺山門（南多久町桐野）

③堂と社

市内には先に述べた神社や仏閣が多くあるが、各集落には堂や祠などの社が祀られている。

現在、市全体で堂は 82、社は 35 となっている。堂が最も多い町は西多久町で 19 であり、最も少ないのは多久町の 14 である。

社が最も多い町は東多久町の 11 であり、最も少ないのは南多久町の 4 である。



写真 2-60 野間口薬師堂（西多久町）



写真 2-61 弁財天社（北多久町松ヶ浦）

④石造物

多久市の東に位置する小城市牛津町を中心に室町時代の末期から江戸時代初期にかけて砥川石工が活躍し、佐賀県内には肥前鳥居をはじめとした多くの石造物が残されている。肥前鳥居の特徴は、笠木と島木が一体化し、木鼻が流線形に伸びている。笠木・島木・貫・柱の各部分が継材となっており、原則的には各部分が3本継ぎとなっている。柱の下部に亀腹を設けず、柱の下部を削り出して、生け込みになっている。柱の上部には、台輪をつけ楔を設けないなどがあげられる。また肥前狛犬も独特なもので、一般に小形で姿態は極めて静的であり、彫法は簡潔にして素朴である。肥前狛犬が姿を消す江戸時代中期前後から大型で躍動的な唐獅子系狛犬が出現する。

市全体では、3千体以上が存在したと思われる。現在1,292体が確認され、その主なものは以下の通りである。

町別にみると、北多久町が最も多く378、多久町が最も少なく147である。

行政区別の石造物を概観すると、かつて或いは各町の中心の行政区に多く存在しており、一方、市域の境界にある行政区では相対的に石造物の数は少ないといえる。

郷土資料館では調査した石造物の展示イベントを行っており、これは公開の意味とともに、石造物の戸籍づくりの側面もあり、その保護へつながる基礎資料となっている。



写真 2-62 肥前狛犬 (東多久町)



写真 2-63 大黒像 (東多久町)



写真 2-64 石造物 (南多久町)



写真 2-65 市重)肥前鳥居 (東多久町)



写真 2-66 六地藏 (東多久町)



写真 2-67 恵比寿像 (東多久町)

4) その他

多久市内には往還などの道沿いを中心に、多くの言い伝えや伝説が残っており、主な伝説は 17 ある。そのうち多久町が 11 か所に関係しており最も多い。

ある程度時代が特定できるのは、鎮西八郎為朝の古代末期から、林姫哀話の江戸時代までである。

資料 2-23 主な伝説と関連地域

| 町 別 | 伝 説 | 関連する地域 |
|------|--|---|
| 東多久町 | 百合稚伝説と鬼神社 我兄弟の供養塔と虎御前 太閤の腰掛水 | 仁位所 渋木 古賀二区 |
| 南多久町 | 多久太郎宗直と陣内城 荒谷万吾と源太の力比べ 孝子吉之助と目達原仇討ち | 高野神社・中小路 谷下・牟田辺 瓦川内 |
| 多久町 | 鬼の鼻伝説 核(さね)割れ梅 柴折峠 兵糧小路 金ヶ江三兵衛伝説 多久聖廟と龍 林姫哀話 | 中野 専称寺 桐岡・岡 下鶴・東の原 西の原 東の原 西の原大明神・宮ノ浦・地福寺 |
| 西多久町 | 林姫哀話 女山の女盗賊 | 円通寺 山口・平古場 |
| 北多久町 | 松浦佐用姫と長者原 鎮西八郎為朝と小伝塚 太閤秀吉と原巻坂・茶屋原 | 横柴折 多久原・四下・申川内 山犬原 |

その他に以下の伝説などもある。また主だった伝説の概要は関係資料に示す。

仏光江（常應寺）、遠永塔（納所）、かまかけさん（長尾）、為朝の矢の根石（高野神社）、妙覚寺山内二十坊（桐野）、鐘掛け松（妙覚寺）、桐野古戦場（桐野）、詫田の番匠（万福寺）、夢想流捕手術（黒髪権現）、高麗権現（東の原）、青竜玉五郎（下鶴）、鶴掛け松（板屋）、陣の辻（中山）、夜泣きの松（相の浦） など



写真 2-68 「核割れ梅」(専称寺)



写真 2-69 「西の原大明神」



写真 2-70 「女山(船山)」



写真 2-71 聖廟天井画「蟠龍」
(御厨夏園画)